



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	23,563	1.1	1,632	18.5	1,867	14.8	1,283	△2.8
2025年3月期	23,316	7.7	1,377	34.9	1,626	30.3	1,320	37.2

(注) 包括利益 2026年3月期 3,560百万円 (364.2%) 2025年3月期 767百万円 (△71.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	292.29	—	5.1	5.3	6.9
2025年3月期	297.41	—	5.7	4.9	5.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	36,921	27,476	72.3	6,084.82
2025年3月期	33,384	24,279	70.2	5,341.87

(参考) 自己資本 2026年3月期 26,712百万円 2025年3月期 23,450百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,085	△1,271	△375	8,243
2025年3月期	1,974	△2,287	△326	7,579

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	176	13.4	0.7
2026年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	219	17.1	0.9
2027年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		—	

(注) 2026年3月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

### 3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

2027年3月期の連結業績予想については、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多く、合理的に算定することが困難であるため、記載していません。連結業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	4,450,000株	2025年3月期	4,450,000株
2026年3月期	59,994株	2025年3月期	59,994株
2026年3月期	4,390,006株	2025年3月期	4,439,190株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(追加情報の注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報の注記) .....	17
(重要な後発事象の注記) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年4月1日～2026年3月31日）のわが国経済は、期初の関税影響による景気下押し影響は浅いものになり、緩やかに拡大してきましたが、中東情勢緊迫化を受けて先行きは不透明な状況です。また、鉱工業生産指数は上昇と低下を繰り返し、基調判断については2024年7月以降「一進一退」に据え置かれています。

このような状況の中で当社グループの連結売上高は23,563百万円で前期比247百万円の増収でした。損益では営業利益1,632百万円（前期比254百万円の増益）、経常利益1,867百万円（同240百万円の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益1,283百万円（同37百万円の減益）となりました。売上数量が伸び悩む状況が続きましたが、採算の確保に努めて経常利益は増益となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は前期の投資有価証券売却益等の影響により減益となりました。

当社単独では売上数量が前年を割り込みましたが売上高は増収となりました。一方で賃上げによる人件費、投資設備完成による減価償却費などの負担が増加しましたが、子会社配当を大幅に増配した影響で経常利益および当期純利益は増益となりました。

連結子会社の概況は次のとおりであります。

タイ昭和パックス㈱は会計期間が1～12月です。主要取引先の減産などの影響で売上数量は減少し、現地通貨と円貨ともに減収減益となりました。九州紙工㈱は売上数量の微増により増収増益となりました。㈱ネスコは主要顧客との取引が好調で増収増益となりました。山陰製袋工業㈱は会計期間が1～12月です。売上数量の微増により増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ○重包装袋

重包装袋セグメントの主力製品であるクラフト紙袋の当連結会計年度の業界全体の出荷数量（ゴミ袋を除く）は前年同期比1.4%の減少となりました。農水産物、澱粉、石灰、その他の用途は前年同期の数量を上回りましたが、化学薬品、米麦、セメント、その他鉱産物、飼料、その他食品、合成樹脂の用途が大きく減少しました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は高止まりで推移していましたが、物流費の高騰や労務費の増加など全般的なコスト上昇により値上がりしました。

当社の売上数量は前年同期比1.7%の減少となりました。業界の傾向に同じく、塩、砂糖・甘味、その他の用途は前年同期の数量を上回り、化学薬品及びその他食品の用途は業界の傾向に反して増加しました。一方で米麦、合成樹脂、その他鉱産物の用途が業界の傾向と同じく大きく減少しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、砂糖及び飼料用途にて増加し、塩用途にて大きく減少したものの全体では前年同期から0.4%の増加となりました。タイ昭和パックス㈱の当連結会計年度（1～12月）は、タイ及び周辺諸国の経済減速により、売上数量は対前年同期比10.2%の減少となりました。山陰製袋工業㈱の当連結会計年度（1～12月）は、前半の減少から期末にかけて増加に転じ、売上数量は前年同期比0.4%の増加となりました。

当セグメントの連結売上高は15,431百万円で、前期に対して136百万円の増収となりました。

#### ○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当連結会計年度の出荷量は前年同期から産業用、農業用ともに減少となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、原料ナフサの価格が弱含みで推移した一方で、物流費や労務費など諸経費の上昇が継続していることから高水準で推移しました。加えて、中東情勢緊迫化の影響により価格の上昇や一部において供給制約が生じ、調達面に影響を及ぼしています。

当社の売上数量は、産業用で増加、農業用で減少し、合計では前年同期比0.7%の減少となりました。産業用では、マスキングフィルム「HQF」、ポリスチレンフィルム「エスクレア」、パレットストレッチ用フィルム「エスラップ」、発泡フィルムは増加しましたが、一般広幅フィルムは減少しました。農業用では、ハウスフィルム「キリヨケバーナル」「フルーツ物語」は増加しましたが、「牧草ストレッチフィルム」「農サクビ」は減少しました。

当セグメントの連結売上高は4,380百万円で、前期に対して101百万円の増収となりました。

## ○コンテナ

フレキシブルコンテナの業界全体の当連結会計年度の出荷量は国内生産品と海外生産品を合わせると、殆どの用途において前年を大きく下回りました。とりわけ合成樹脂、化学工業品および食品の用途は大きく減少しました。海外からの輸入量全体は前年から大幅減少となり、全体で前年同期から大幅減少となりました。

当社のフレキシブルコンテナ「エルコン」の売上数量は、前年同期比15.5%の減少でした。液体輸送用1,000lポリエチレンバッグ「エスキューブ」は、新規用途での採用が進み前年同期比22.6%の増加となりました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は、前年同期比13.4%の減少でした。

当セグメントの連結売上高は1,783百万円で、前期に対して101百万円の減収でした。

## ○不動産賃貸

前連結会計年度中に新規の賃貸契約があり、当セグメントの連結売上高は249百万円となり、前期から22百万円の増収でした。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の当社グループの総資産は36,921百万円で、前連結会計年度末に比べて3,536百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金701百万円、有形固定資産354百万円、投資有価証券2,324百万円および退職給付に係る資産295百万円です。主な減少要因は受取手形及び売掛金216百万円です。

負債合計は9,444百万円で、前連結会計年度末に比べ339百万円増加しました。主な増加要因は繰延税金負債695百万円および流動負債のその他335百万円です。主な減少要因は電子記録債務548百万円および営業外電子記録債務164百万円です。

純資産合計は27,476百万円で、前連結会計年度末に比べて3,197百万円増加しています。主な増加要因は利益剰余金1,107百万円、その他有価証券評価差額金1,367百万円、為替換算調整勘定331百万円および退職給付に係る調整累計額454百万円です。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金および現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて664百万円増加の8,243百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,085百万円（前期比111百万円の収入増）となりました。この主な内訳は税金等調整前当期純利益1,960百万円、減価償却費757百万円および売上債権の減少額219百万円による資金の増加、仕入債務の減少額588百万円および法人税等の支払額712百万円による資金の減少です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,271百万円（同1,015百万円の支出減）となりました。この主な内訳は投資有価証券の取得による支出323百万円および有形固定資産の取得による支出985百万円です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は375百万円（同48百万円の支出増）となりました。この主な内訳は配当金の支払額175百万円および非支配株主への配当金の支払額188百万円です。

	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
自己資本比率 (%)	66.0	67.5	69.2	70.2	72.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.8	23.3	25.0	24.4	35.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.6	1.7	1.3	0.6	0.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	192.4	124.6	88.0	135.5	112.3

※計算式及び算出に利用した数字のベース

	計算式
自己資本比率	自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率	株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

次期につきましては、中東情勢緊迫化による業績への影響を最小限に抑えて、売上数量や採算を確保していくことが急務となります。一方で賃上げによる人件費、投資設備完成による減価償却費などの負担が増加し、引き続き利益圧迫要因となることは避けられない見込みです。

当社グループの次期の業績は、中東情勢緊迫化の影響などから業績の見通しの前提となる石油由来の原材料の調達や価格、また主要販売先の生産設備の稼働動向を見通すことが困難な状況のため現時点では未定とし、今後合理的な想定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

なお、連結子会社である㈱ネスコにおいて、同社の取引先に対する債権につき期日が経過しても売掛金が入金されない事態となり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じております。詳細は添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報の注記)」をご覧ください。当該損失の見込額が算定できた時点で速やかにお知らせいたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは海外での事業展開は行っておりますが、当面は日本基準の適用を継続していく予定です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,943,586	9,644,589
受取手形及び売掛金	6,308,855	6,092,793
電子記録債権	980,961	1,027,555
商品及び製品	1,346,559	1,392,098
仕掛品	186,762	156,682
原材料及び貯蔵品	1,525,233	1,678,941
その他	325,050	253,186
貸倒引当金	△356,313	△353,873
流動資産合計	19,260,696	19,891,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,536,298	9,790,733
減価償却累計額	△6,748,824	△7,025,084
建物及び構築物 (純額)	2,787,474	2,765,648
機械装置及び運搬具	11,860,940	12,131,634
減価償却累計額	△10,129,099	△10,492,577
機械装置及び運搬具 (純額)	1,731,841	1,639,056
土地	958,414	974,481
建設仮勘定	257,774	708,502
その他	929,209	962,999
減価償却累計額	△822,593	△854,034
その他 (純額)	106,615	108,964
有形固定資産合計	5,842,120	6,196,654
無形固定資産		
ソフトウェア	241,044	172,395
無形固定資産合計	241,044	172,395
投資その他の資産		
投資有価証券	5,806,011	8,130,591
退職給付に係る資産	1,500,729	1,795,958
繰延税金資産	65,303	74,714
その他	676,918	666,437
貸倒引当金	△8,300	△7,660
投資その他の資産合計	8,040,662	10,660,042
固定資産合計	14,123,826	17,029,091
資産合計	33,384,523	36,921,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,935,672	2,846,305
電子記録債務	1,166,713	618,145
短期借入金	1,179,214	1,163,614
未払法人税等	328,254	372,380
賞与引当金	418,049	430,671
設備関係支払手形	1,265	—
営業外電子記録債務	367,529	202,688
その他	678,343	1,014,006
流動負債合計	7,075,041	6,647,811
固定負債		
長期借入金	31,171	40,673
繰延税金負債	1,598,640	2,294,122
役員退職慰労引当金	62,349	77,883
退職給付に係る負債	169,180	210,077
資産除去債務	4,395	4,395
長期預り保証金	163,832	163,832
その他	704	5,740
固定負債合計	2,030,273	2,796,724
負債合計	9,105,314	9,444,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	17,979,321	19,086,883
自己株式	△108,553	△108,553
株主資本合計	18,801,113	19,908,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,525,984	3,893,591
為替換算調整勘定	1,383,341	1,715,063
退職給付に係る調整累計額	740,411	1,195,057
その他の包括利益累計額合計	4,649,737	6,803,712
非支配株主持分	828,356	764,140
純資産合計	24,279,208	27,476,529
負債純資産合計	33,384,523	36,921,064

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	23,316,657	23,563,886
売上原価	19,050,670	19,152,266
売上総利益	4,265,987	4,411,619
販売費及び一般管理費	2,888,233	2,779,245
営業利益	1,377,754	1,632,373
営業外収益		
受取利息	34,740	39,832
受取配当金	192,835	197,340
為替差益	21,590	3,455
その他	20,886	13,804
営業外収益合計	270,051	254,433
営業外費用		
支払利息	15,267	18,814
その他	5,907	840
営業外費用合計	21,175	19,654
経常利益	1,626,630	1,867,153
特別利益		
固定資産売却益	764	—
投資有価証券売却益	255,231	—
抱合せ株式消滅差益	—	110,403
特別利益合計	255,996	110,403
特別損失		
固定資産除却損	4,576	10,386
合併関連費用	—	7,053
特別損失合計	4,576	17,439
税金等調整前当期純利益	1,878,051	1,960,116
法人税、住民税及び事業税	517,572	748,615
法人税等調整額	14,677	△156,111
法人税等合計	532,250	592,504
当期純利益	1,345,800	1,367,612
非支配株主に帰属する当期純利益	25,547	84,449
親会社株主に帰属する当期純利益	1,320,253	1,283,162

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	1,345,800	1,367,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,176,929	1,370,101
為替換算調整勘定	604,345	368,580
退職給付に係る調整額	△6,078	454,645
その他の包括利益合計	△578,663	2,193,327
包括利益	767,137	3,560,940
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	681,857	3,437,137
非支配株主に係る包括利益	85,280	123,802

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	640,500	289,846	16,836,668	△9,441	17,757,574
当期変動額					
剰余金の配当			△177,600		△177,600
親会社株主に帰属する当期純利益			1,320,253		1,320,253
自己株式の取得				△99,112	△99,112
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,142,652	△99,112	1,043,539
当期末残高	640,500	289,846	17,979,321	△108,553	18,801,113

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額		
当期首残高	3,702,212	839,430	746,490	5,288,133	754,214	23,799,922
当期変動額						
剰余金の配当						△177,600
親会社株主に帰属する当期純利益						1,320,253
自己株式の取得						△99,112
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△1,176,228	543,910	△6,078	△638,396	74,142	△564,253
当期変動額合計	△1,176,228	543,910	△6,078	△638,396	74,142	479,285
当期末残高	2,525,984	1,383,341	740,411	4,649,737	828,356	24,279,208

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	640,500	289,846	17,979,321	△108,553	18,801,113
当期変動額					
剰余金の配当			△175,600		△175,600
親会社株主に帰属する当期純利益			1,283,162		1,283,162
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,107,562	—	1,107,562
当期末残高	640,500	289,846	19,086,883	△108,553	19,908,676

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額		
当期首残高	2,525,984	1,383,341	740,411	4,649,737	828,356	24,279,208
当期変動額						
剰余金の配当						△175,600
親会社株主に帰属する当期純利益						1,283,162
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	1,367,606	331,722	454,645	2,153,974	△64,216	2,089,758
当期変動額合計	1,367,606	331,722	454,645	2,153,974	△64,216	3,197,320
当期末残高	3,893,591	1,715,063	1,195,057	6,803,712	764,140	27,476,529

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,878,051	1,960,116
減価償却費	700,154	757,352
長期前払費用償却額	340	365
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	159,207	△2,666
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,310	12,621
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18,451	206,951
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50,466	318,378
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,757	15,533
受取利息及び受取配当金	△227,575	△237,173
支払利息	15,267	18,814
有形固定資産売却損益 (△は益)	△764	—
有形固定資産除却損	1,326	9,529
投資有価証券売却損益 (△は益)	△255,231	—
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△110,403
売上債権の増減額 (△は増加)	229,379	219,584
棚卸資産の増減額 (△は増加)	80,218	△93,041
仕入債務の増減額 (△は減少)	△367,208	△588,660
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	△109,523	△122,065
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△75,209	71,835
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	91,531	131,749
その他	60,028	10,283
小計	2,243,075	2,579,106
利息及び配当金の受取額	227,575	237,173
利息の支払額	△14,571	△18,574
法人税等の支払額	△482,062	△712,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,974,016	2,085,160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,964,092	△1,400,850
定期預金の払戻による収入	544,566	1,446,883
有形固定資産の取得による支出	△989,831	△985,275
有形固定資産の売却による収入	1,736	—
無形固定資産の取得による支出	△46,524	△8,009
投資有価証券の取得による支出	△121,974	△323,888
投資有価証券の売却による収入	289,004	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,287,115	△1,271,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,126	△21,600
長期借入れによる収入	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△10,998	△14,498
自己株式の取得による支出	△99,112	—
配当金の支払額	△177,600	△175,600
非支配株主への配当金の支払額	△11,138	△188,019
その他の支出	△7,996	△5,778
財務活動によるキャッシュ・フロー	△326,972	△375,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	272,549	112,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△367,522	550,714
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	113,531
現金及び現金同等物の期首残高	7,947,016	7,579,493
現金及び現金同等物の期末残高	7,579,493	8,243,739

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (追加情報の注記)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社の連結子会社である㈱ネスコ(以下「ネスコ」といいます。)において、ネスコが納入した原材料を使用して製造した当該取引先の製品に不具合が発生したことを理由とする支払留保の通知があり、期日が経過しても売掛金が入金されない事態となりました。ネスコは製品不具合の詳細説明を求めるとともに、取引基本契約に基づき支払の履行を求める催告を行いました。当該の原材料のみならずすべての売掛金について支払がなされない状態が続き、取立不能または取立遅延のおそれが生じております。当連結会計年度末の売掛債権残高381,755千円の取立不能または取立遅延のおそれのある対象債権の回収のためにネスコは当該取引先を相手とした訴訟を2022年12月に提起しました。現在も係争継続中ですが、引き続き当該取引先に対し支払義務の履行を求めています。

なお、当該売掛債権は一定期間弁済がないため内規に基づき貸倒引当金を流動資産に計上しております。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは産業用包装資材およびその周辺事業を国内外にて展開しております。経営管理においては、当社グループが取り扱う製品・商品・サービスを、その機能・形状・素材によって、重包装袋、フィルム製品、コンテナおよび不動産賃貸に区分し、区分ごとの損益集計および戦略立案を行っております。

この状況を踏まえ、当社はマネジメント・アプローチに基づいて、「重包装袋」「フィルム製品」「コンテナ」「不動産賃貸」の4つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
 前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,294,702	4,278,367	1,884,641	—	21,457,710	1,631,776	23,089,487
その他の収益	—	—	—	227,170	227,170	—	227,170
外部顧客に対する売上高	15,294,702	4,278,367	1,884,641	227,170	21,684,880	1,631,776	23,316,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,294,702	4,278,367	1,884,641	227,170	21,684,880	1,631,776	23,316,657
セグメント利益	1,345,553	172,766	42,066	116,239	1,676,626	141,986	1,818,612
セグメント資産	17,885,655	3,172,528	1,163,699	812,376	23,034,259	1,966,351	25,000,610
その他の項目							
減価償却費	497,758	62,046	10,268	44,284	614,356	18,512	632,869
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	865,720	69,209	3,845	145,111	1,083,887	2,258	1,086,146

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	15,431,260	4,380,310	1,783,551	—	21,595,122	1,719,177	23,314,300
その他の収益	—	—	—	249,585	249,585	—	249,585
外部顧客に対する売上高	15,431,260	4,380,310	1,783,551	249,585	21,844,708	1,719,177	23,563,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,431,260	4,380,310	1,783,551	249,585	21,844,708	1,719,177	23,563,886
セグメント利益	1,227,987	405,681	43,361	145,692	1,822,724	235,330	2,058,054
セグメント資産	18,344,189	3,632,650	1,216,600	823,179	24,016,619	1,960,374	25,976,994
その他の項目							
減価償却費	549,470	60,442	8,912	49,322	668,148	18,388	686,537
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	873,106	66,125	324	29,344	968,900	343	969,243

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	21,684,880	21,844,708
「その他」の区分の売上高	1,631,776	1,719,177
連結財務諸表の売上高	23,316,657	23,563,886

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,676,626	1,822,724
「その他」の区分の利益	141,986	235,330
全社費用（注）	△440,858	△425,681
連結財務諸表の営業利益	1,377,754	1,632,373

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	23,034,259	24,016,619
「その他」の区分の資産	1,966,351	1,960,374
全社資産（注）	8,383,912	10,944,070
連結財務諸表の資産合計	33,384,523	36,921,064

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない投資有価証券等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	614,356	668,148	18,512	18,388	67,284	70,815	700,154	757,352
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,083,887	968,900	2,258	343	157,794	10,670	1,243,940	979,913

(注) 1. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に全社資産にかかるものであります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、前連結会計年度については主に本社ビルのリニューアル工事等への投資額であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	タイ国	その他	合計
19,427,296	2,878,822	1,010,538	23,316,657

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の金額は、日本およびタイ国を除いた地域の売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ国	合計
4,758,220	1,083,899	5,842,120

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	タイ国	その他	合計
19,989,525	2,767,545	806,815	23,563,886

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の金額は、日本およびタイ国を除いた地域の売上高であります。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ国	合計
5,128,252	1,068,401	6,196,654

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	5,341円87銭	1株当たり純資産額	6,084円82銭
1株当たり当期純利益金額	297円41銭	1株当たり当期純利益金額	292円29銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,320,253	1,283,162
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額 (千円)	1,320,253	1,283,162
期中平均株式数 (株)	4,439,190	4,390,006

(重要な後発事象の注記)

(共通支配下の取引等)

子会社株式の追加取得

当社は、2026年3月25日開催の取締役会において、丸紅株式会社が保有する当社連結子会社であるタイ昭和パックス株式会社（以下、「タイ昭和パックス」という）の株式の全株式の追加取得、及びMarubeni Thailand Co.,Ltdの保有するタイ昭和パックスの株式の全株式を当社連結子会社である山陰製袋工業株式会社が新規取得することを決議し、2026年4月1日付けで当該株式譲渡契約を締結いたしました。

#### 1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| ① 結合当時企業の名称 | タイ昭和パックス株式会社             |
| ② 事業の内容     | クラフト紙袋ならびにフィルム、コンテナの製造販売 |

(2) 企業結合日

2026年5月15日（予定）

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

タイ昭和パックスについて、丸紅株式会社及びMarubeni Thailand Co.,Ltdが保有する全株式（議決権所有割合10.0%）を取得するものであります。

これにより当社グループが保有するタイ昭和パックスの議決権所有割合は、90.0%から99.8%となります。

#### 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理する予定です。

#### 3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得価額につきましては、非開示とさせていただきます。

#### 4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって減少する資本剰余金の金額

現時点では確定しておりません。